

# 平成27年3月期 第2四半期 決算説明会

 栄研化学株式会社  
平成26年10月24日

## 本日の内容

1. 平成27年3月期 第2四半期 連結経営成績
2. 平成27年3月期 第2四半期 重点施策
3. 平成27年3月期 下期重点施策と連結業績予想

本資料は、金融商品取引上のディスクロージャー資料ではなく、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。  
また、本資料に記載されている将来の予想等については、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、  
今後様々な要因によって予想と異なる場合があります。  
本資料は、一切の投資勧誘またはそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。  
当社は、本資料の利用により生じたいかなる損害に対しても、一切責任を負いかねます。

平成27年3月期 第2四半期  
連結経営成績

2

平成27年3月期 第2四半期 業績総括(1)

(単位：百万円)

	平成27年3月期 第2四半期					
	業績予想 (4/28)	実績	構成比	予実差異	前年 同期差異	前年 同期比
売上高	15,970	15,819	100.0%	△150	753	105.0%
営業利益	1,570	1,855	11.7%	285	217	113.3%
経常利益	1,600	1,955	12.4%	355	263	115.6%
当期純利益	1,010	1,349	8.5%	339	264	124.4%

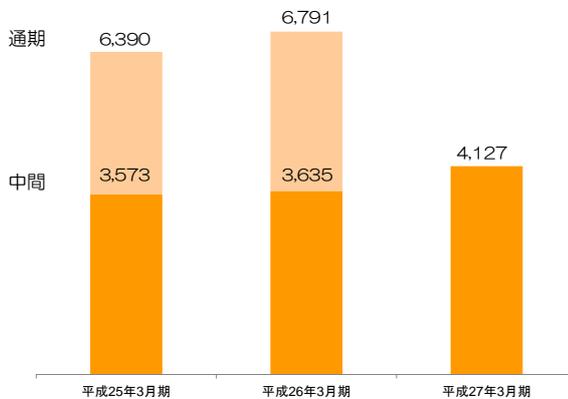
## 平成27年3月期 第2四半期 業績総括(2)

- 国内向け売上高では、第1四半期に消費税増税に伴う駆け込み需要の反動が見られたものの、第2四半期は復調  
海外向け売上高では、前年同期比45.7%増と大きく伸長
- 国内では、一般検査用試薬ウロペーパーαⅢ、ABC分類※関連検査用試薬、大腸がん検診用の便潜血検査用試薬が売上に貢献  
  
※ ABC分類: 血液検査によって胃の健康度を評価
- 海外では、北米、欧州、アジアにおける便潜血検査用試薬・装置の売上、イタリアでの全自動尿分析装置及び専用試薬が売上に貢献
- 遺伝子関連では、LAMP法の特許料収入が伸長
- 利益面では、第2四半期に見込んでいた研究開発費が第3四半期へずれ込んだことにより、営業利益が前年同期比13.3%増、経常利益が同15.6%増、平成26年度税制改正に伴い法人税等が減少したことにより、四半期純利益が同24.4%増

## 製品の種類別区分ごとの売上高

(単位：百万円)

便潜血検査用試薬(OC)	平成25年3月期		平成26年3月期		平成27年3月期
	中間	通期	中間	通期	中間
	3,573	6,390	3,635	6,791	4,127



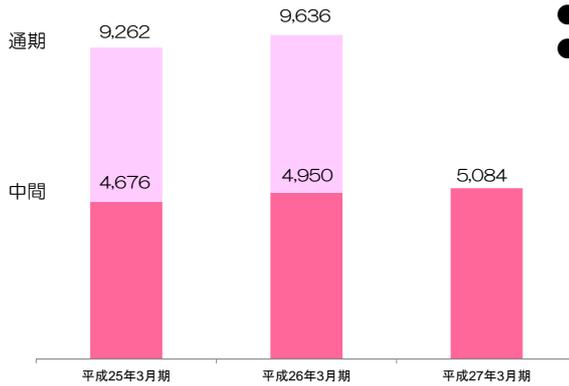
- 前年同期比 113.5%
- 国内 106.6%  
国内販売戦略の奏功
- 海外 148.0%  
北米、欧州及びアジア  
における売上高の伸長



## 製品の種別別区分ごとの売上高

(単位：百万円)

免疫血清学的検査用試薬 (OCを除く)	平成25年3月期		平成26年3月期		平成27年3月期
	中間	通期	中間	通期	中間
	4,676	9,262	4,950	9,636	5,084



●前年同期比 102.7%

●LZ及びEプレート 伸長

- ABC分類※関連項目

- MMP-3(自己免疫疾患)

※ABC分類: 血液検査によって胃の健康度を評価



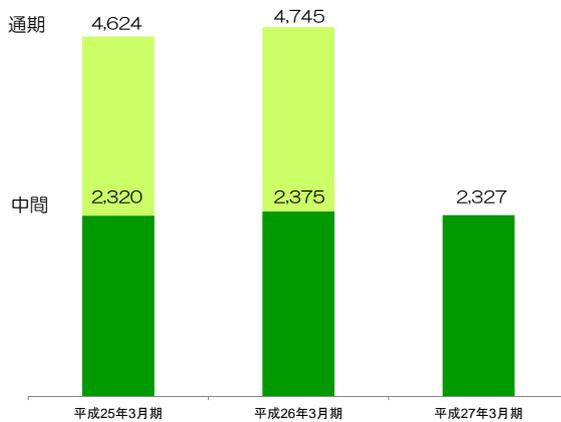
EIKEN CHEMICAL CO., LTD

6

## 製品の種別別区分ごとの売上高

(単位：百万円)

微生物検査用試薬	平成25年3月期		平成26年3月期		平成27年3月期
	中間	通期	中間	通期	中間
	2,320	4,624	2,375	4,745	2,327



●前年同期比 98.0%

●消費税増税による駆け込み需要の反動減



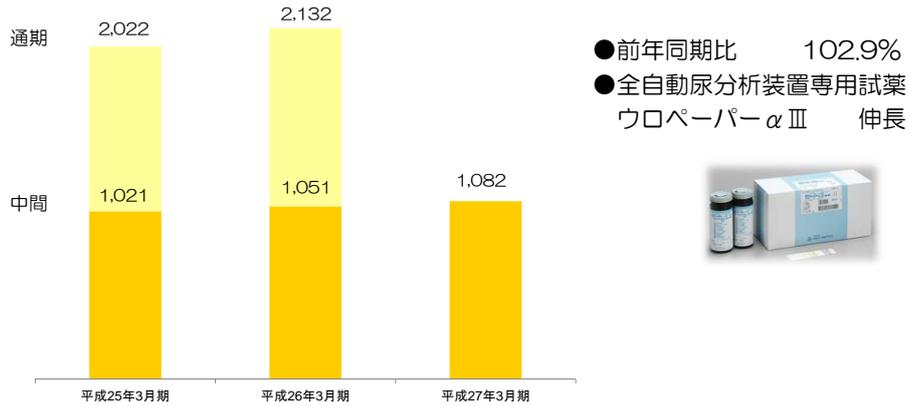
EIKEN CHEMICAL CO., LTD

7

## 製品の種別別区分ごとの売上高

(単位：百万円)

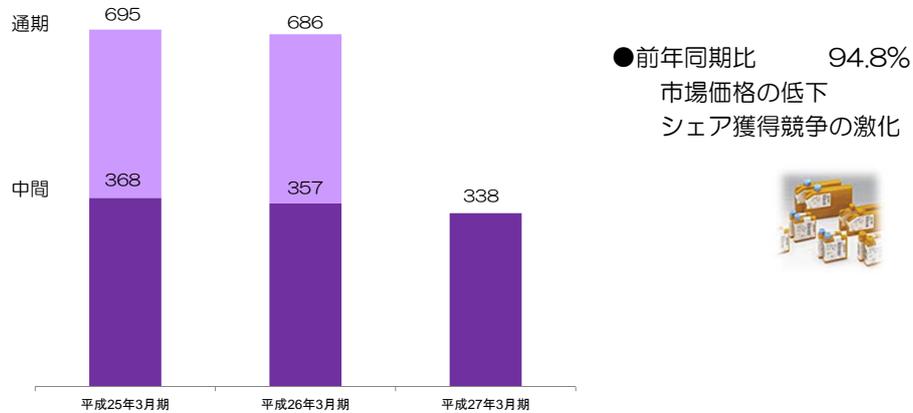
一般検査用試薬	平成25年3月期		平成26年3月期		平成27年3月期
	中間	通期	中間	通期	中間
	1,021	2,022	1,051	2,132	1,082



## 製品の種別別区分ごとの売上高

(単位：百万円)

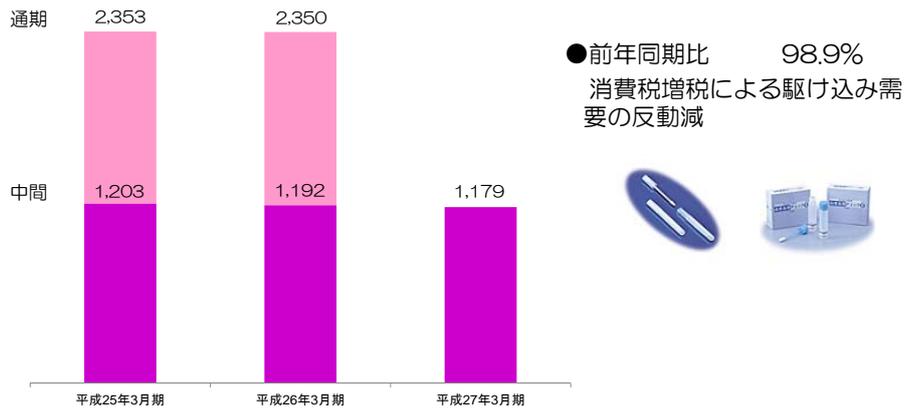
生化学的検査用試薬	平成25年3月期		平成26年3月期		平成27年3月期
	中間	通期	中間	通期	中間
	368	695	357	686	338



## 製品の種別別区分ごとの売上高

(単位：百万円)

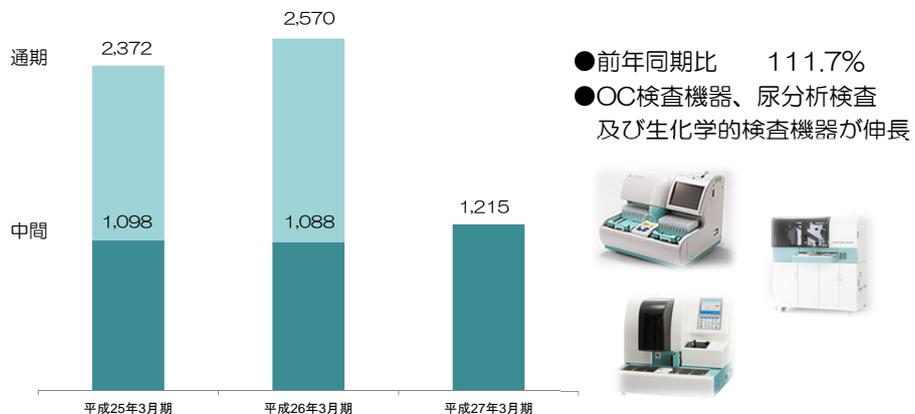
器具・食品環境関連培地	平成25年3月期		平成26年3月期		平成27年3月期
	中間	通期	中間	通期	中間
	1,203	2,353	1,192	2,350	1,179



## 製品の種別別区分ごとの売上高

(単位：百万円)

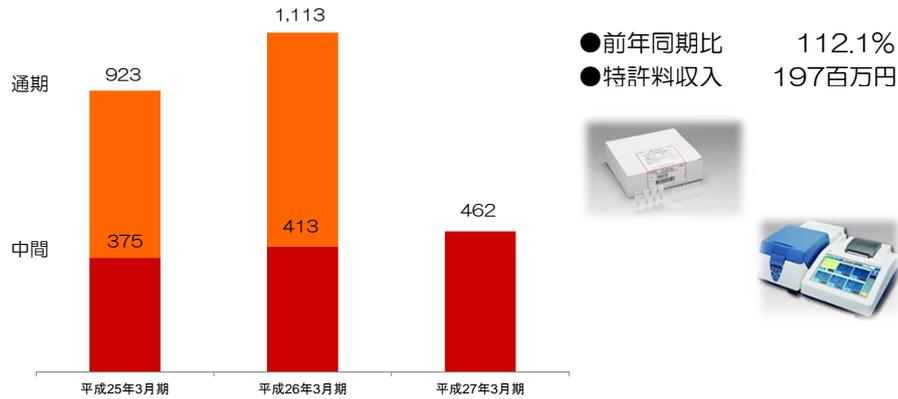
医療機器関連 (LAMP関連機器を除く)	平成25年3月期		平成26年3月期		平成27年3月期
	中間	通期	中間	通期	中間
	1,098	2,372	1,088	2,570	1,215



## 製品の種別別区分ごとの売上高

(単位：百万円)

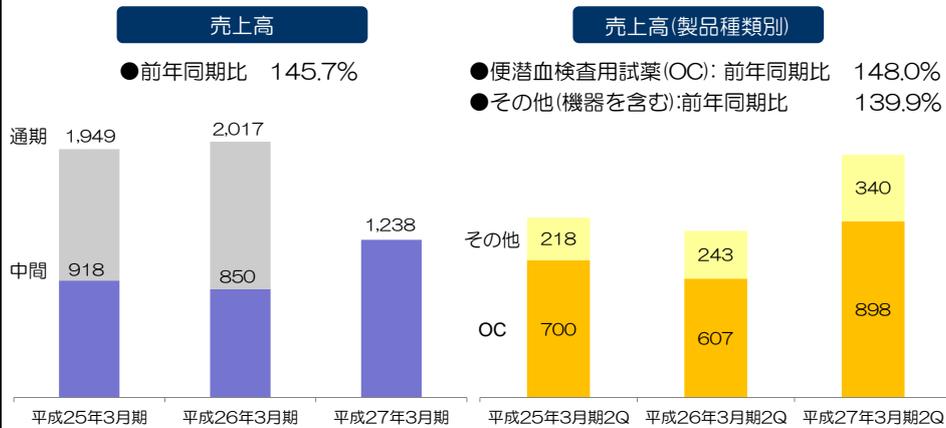
遺伝子関連(機器含む)	平成25年3月期		平成26年3月期		平成27年3月期
	中間	通期	中間	通期	中間
	375	923	413	1,113	462



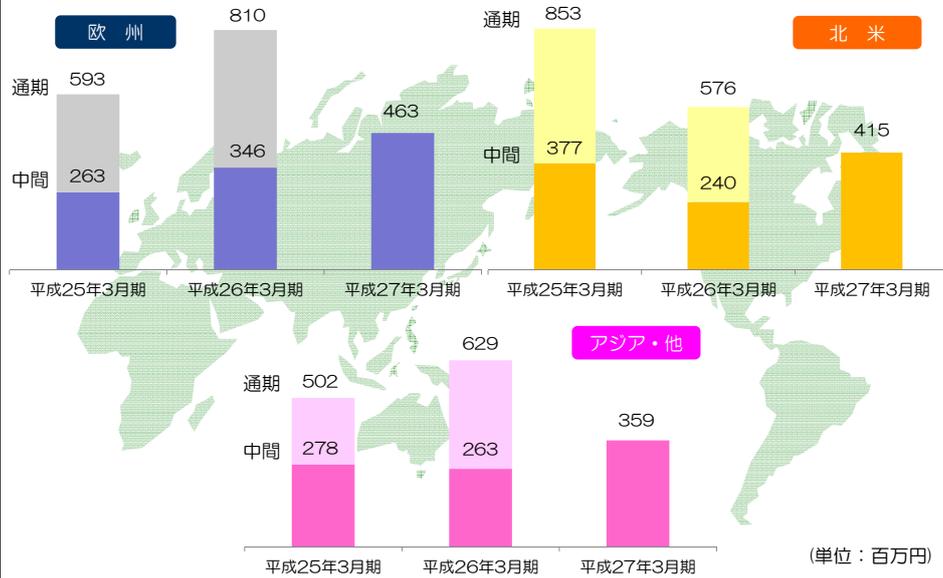
## 海外売上高

(単位：百万円)

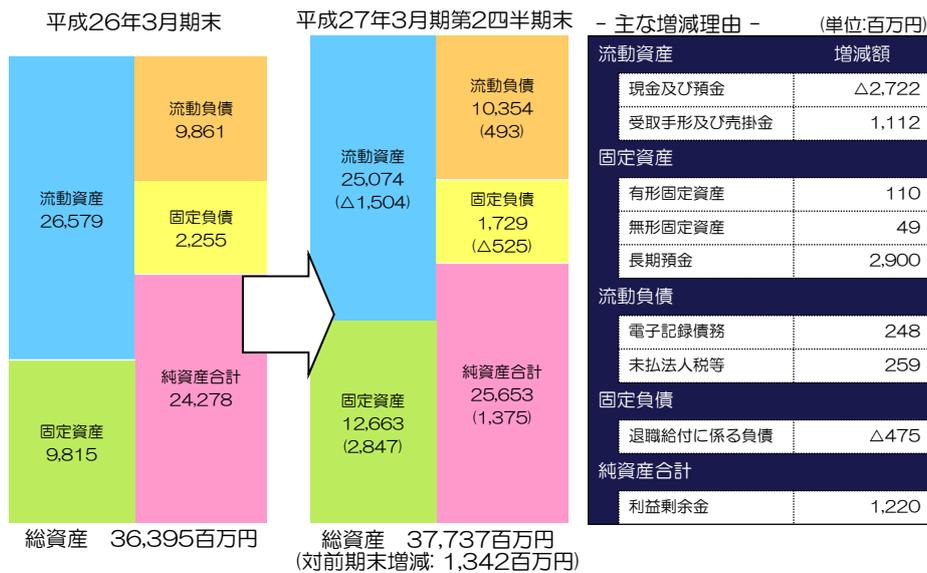
海外売上高	平成25年3月期		平成26年3月期		平成27年3月期
	中間	通期	中間	通期	中間
	918	1,949	850	2,017	1,238



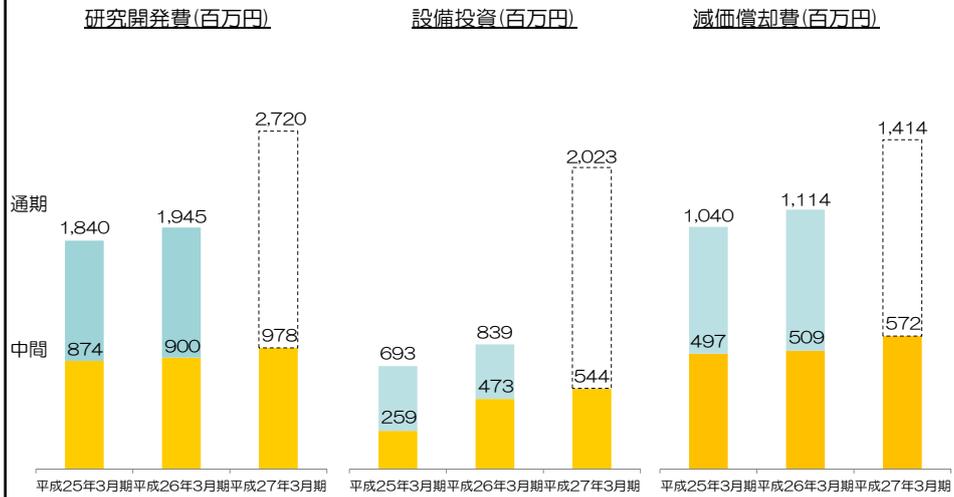
## 海外売上高(地域別)



## 貸借対照表(主な増減理由)



## 研究開発費・設備投資の推移



## 平成27年3月期 第2四半期 重点施策

## 平成27年3月期 第2四半期 重点施策

### 日本: 市場におけるシェアアップ

- (1) 便潜血検査(OC)
  - 大腸がん検診普及活動による市場拡大とシェアアップ(継続)
- (2) 一般検査
  - 尿試験紙ウロペーパーの販売促進
- (3) 免疫血清学的検査(LZテスト、Eプレート、BLEIA、AIA等)
  - 胃の健康度検査(ABC分類)の普及推進によるピロリ菌抗体検査及びペプシノゲン検査用試薬の重点的販売。
  - 『LZテスト ‘栄研’ H.ピロリ抗体』発売
- (4) 微生物検査(ドライプレート、ポアメディア、イムノキャッチ)
  - 微生物分類同定分析装置『MALDIバイオタイパーMF』発売
  - 微生物感受性分析装置『DPS192iX』及び『ドライプレート ‘栄研’ (192プレート)』と微生物分類同定分析装置の組み合わせによる販売強化
- (5) 遺伝子検査(Loopamp)
  - LAMP製品の販売強化(結核菌群、マイコプラズマ等)

## 平成27年3月期 第2四半期 重点施策

### 海外: グローバル展開の推進(OC、LAMP他)

#### 北 米

OC販売促進

#### 欧 州

- (1) OCの普及拡大
  - フランス、イングランドなどで採用に向けた対応
- (2) 尿試験紙ウロペーパーの販売促進
  - イタリアでの販売推進

#### アジア・他

- (1) OCの普及拡大
  - 新規採用や販売拡大に向け対応中(タイ、香港、ニュージーランドなど)
- (2) 中国事業の展開
  - LAMP試薬及び機器の販売拡大、OCの販売推進

## 平成27年3月期 第2四半期 重点施策

### FIND事業

- (1) 結核
  - ・ WHO推奨取得に向けた途上国での評価を継続実施  
(アフリカ、東南アジアなどの14ヶ国にて)
  - ・ 中国CFDA申請手続き対応
- (2) マラリア
  - ・ マラリア撲滅プロジェクトのスクリーニング用試薬販売
- (3) HAT(アフリカ睡眠病)
  - ・ コンゴ民主共和国、ウガンダでの臨床試験継続
  - ・ 撲滅プロジェクト用試薬販売(アフリカ6ヶ国)
- (4) リーシュマニア症
  - ・ FINDによる試作品の評価継続
- (5) シャーガス病
  - ・ 試作品の開発

## 平成27年3月期 第2四半期 重点施策

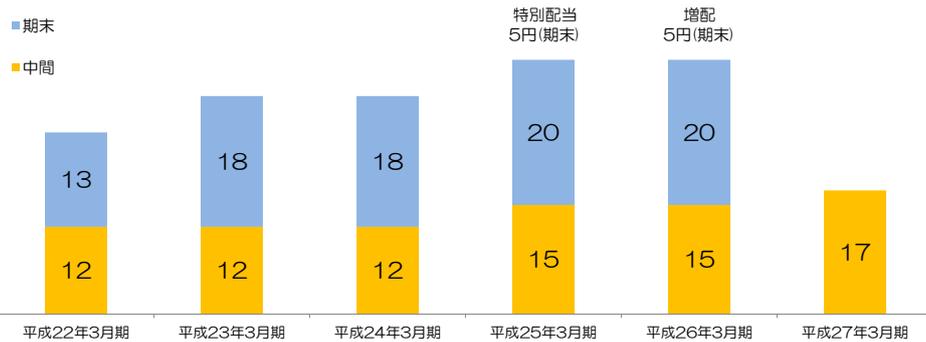
### 生産性の向上、人材の育成・活用、CSR等

- (1) 売上原価率の改善(製造コスト等の削減)
- (2) 業務効率化による販管費削減
- (3) 新品質システム運用のための継続的な教育訓練の実施と力量の向上
- (4) 能力開発ビジョンによる人材の育成
- (5) BRAVE CIRCLE(大腸がん撲滅キャンペーン)活動

## 株主還元(配当金)

中間配当：1株当たり17円

連結中間配当総額：3億10百万円



## 平成27年3月期 下期重点施策と連結業績予想

## 平成27年3月期 下期重点施策

### 販売の推進

#### (1) 国内市場におけるシェアアップ

- 自社品最重点製品群: OC、尿試験紙、LZテスト、薬剤感受性
- 販売維持強化製品群: AIA、HbA1c、培地
- 育成・販売強化製品群: LAMP、POCT、BLEIA、生化学、産業分野

#### (2) 海外市場における展開の推進

- 大腸がんスクリーニングにおけるOCブランドの確立と販売拡大
- LAMP製品の販売促進
- 免疫血清学的検査用試薬及び迅速検査試薬の展開
- 尿試験紙ウロペーパーの販売促進

## 平成27年3月期 下期重点施策

### 研究開発の強化

- (1) 顧客要望の確実な把握と製品開発への適用
- (2) LAMP、迅速検査(POCT)及びBLEIA製品群の開発推進
- (3) 既存技術のブラッシュアップによる製品改良
- (4) 新規バイオマーカーや新規診断技術の探索研究推進
- (5) FIND事業(結核、マラリア、HAT、リーシュマニア症、シャーガス病)の推進

### 生産性の向上、人材の育成・活用、CSR等

- (1) 売上原価率の改善(製造コスト等の削減)
- (2) 業務効率化による販管費削減
- (3) 新品質システム運用のための継続的な教育訓練の実施と力量の向上
- (4) 能力開発ビジョンによる人材の育成
- (5) BRAVE CIRCLE(大腸がん撲滅キャンペーン)活動

## 平成27年3月期 業績予想

### 業績予想

(単位：百万円)

	連 結			個 別		
	金 額	構成比	対前期比	金 額	構成比	対前期比
売 上 高	31,320	100.0%	104.3%	31,120	100.0%	103.6%
営 業 利 益	2,900	9.3%	96.4%	2,900	9.3%	96.3%
経 常 利 益	2,930	9.4%	94.7%	2,910	9.4%	94.8%
当期純利益	1,870	6.0%	94.2%	1,850	5.9%	94.4%

### 海外売上高

(単位：百万円)

	平成26年3月期 実績	平成27年3月期 予想	増 減
海外売上高	2,017	2,950	932
海外売上高比率	6.7%	9.4%	(対前期比：146.2%)

### 配 当

(単位：円)

	中間配当	期末配当	年 間
	17	18	35

\* 通期業績予想及び配当については変更していません



## 栄研化学株式会社

臨床検査薬の総合メーカーとして  
人々の健康に貢献していきます。